

様式 1

県立古河第一高等学校（定時制）【総合的な探究の時間計画】（令和 8 年度）

学校の教育目標

確かな学力と豊かな心・健やかな体を育て、生涯にわたって学び続けながら、社会の変化に対応して創造的にキャリアを形成し、地域の中核となって活躍できる人財を育成する。

- (1) 「主体的・対話的で深い学び」の実践を通して、自ら課題と見つけ、自ら解決する力を育む。
- (2) 学年の発達段階に応じたキャリア教育を行い、自己の生き方について考えを深めさせ、卒業後の自己実現に結びつける。
- (3) ボランティア活動や地域の行事等への積極的な参加、企業との連携等を通して、地域との協働を目指す。

総合的な探究の時間の評価

目標と育成する資質・能力	学習評価	配慮を必要とする生徒への支援方法
<p>探究の見方・考え方を働かせ、社会的自立に自立に向けた学習を通して、自己の在り方・生き方を考えながら課題を見つけ、解決できるようにするため以下の資質・能力を育成する。</p> <p>(1) 社会的自立に関する探究の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付けるとともに、日常や社会生活上の具体的な対処法を選択することができる。(知識・技能)</p> <p>(2) 実社会や実生活と自己との関りから問いを見出し、自ら課題を設定し、情報の収集、整理分析したものをまとめて発表できるようにする。(思考力・判断力・表現力)</p> <p>(3) 探究活動に主体的・協働的に取り組むとともに、自己の能力を生かしながら、地域・社会に参画しようとする態度を育成する。(主体的)</p>	<p>以下の手順で、各評価の観点の到達度をはかり、年度末に文章表現等による総合評価を行う。</p> <p>(1) クラス担任・副担任間でこまめに評価の観点、指導上の留意点を共有する。</p> <p>(2) ワークシート、レポート、発表成果物、振り返り等を評価の対象とする。</p> <p>(3) 発表時は授業担当者による評価に加え、参観者による評価や生徒相互による評価も加味する。</p>	<p>教職員間の情報共有</p> <p>個別の配慮</p> <p>スクールカウンセラーとの連携</p> <p>外部機関との連携</p>

各学年における主な取組内容

「総合的な探究の時間」を課題研究等で代替している場合の科目名（ ）

学年	主たる探究課題及び学習活動	外部との連携	育成を目指す生徒像
1～4年 (全学年)	<p>(1) 情報活用能力の習得</p> <p>・新聞などの読めない文字、意味の不明な語句を収集し、調べる。</p> <p>・語源や慣用句、諺などの関連語について調べ、より深く考える。</p> <p>・よく使用する語句について、グループ内やクラスで共有する。</p>	<p>○インターネットの検索機能、図書館</p> <p>○PC講師（専門学校等）</p> <p>○外部講師による講話</p> <p>○地元公共団体（市役所等）</p>	<p>○主体的に学習に取り組み、自ら課題を見つけ、解決しようとする生徒</p> <p>○豊かな心と規範意識を持ち、他社への配慮や自己の責任を自覚し、集団の一員として責任を果たそうとする生徒</p>

様式 1

	<p>(2) 社会生活上のトラブルに関する学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日常における自己の行動を振り返り、トラブル等の中から課題を見つける。 ・ トラブルの原因について調べるとともに、対処や回避する手立てについて考察する。 ・ 社会人としてトラブルに巻き込まれないような心構え、方法について、各自 1 つの事例を挙げ、グループ内で発表して共有する。 <p>(3) 古河一高の歴史や立地を学び、古河市や周辺地域の風土について知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 校内に建つ石碑や周年記念誌等の説明や解説を聴き、設立の経緯や沿革について知ることで母校への愛着の醸成をはかる。 ・ 学校の立地する地域の風土や祭礼などを学び、その成立の過程や影響、関連する事項などを調べる。 ・ 自分の発表や、他者の発表、意見交換等を通して自分で探究したい課題を考える。 <p>(4) 地域活性化に向けた特色ある取組について調査し、地域の伝統や文化とその継承に取り組む人々や組織について考察する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 古河一高や古河市およびその周辺地域の歴史を知り、文化や風土について学んだことを踏まえ、今後のかかわり方について具体的な課題を見つける。 ・ 古河一高についての資料や、古河市やその周辺地域で歴史的や文化的に存続されている事物について情報を収集する。 ・ 集めた情報を活用し、質疑応答で共有、分析し意見をまとめる。他者の意見についても興味・関心を深める。 ・ 個別に課題の取り組みをまとめ、発表原稿を作り、一人ずつ成果発表を行う。 		<p>○母校を愛し、他者との協働を通して人間力の向上を目指す生徒</p> <p>○地域や社会の一員としての自覚を持ち、進んで貢献しようとする生徒</p>
--	--	--	--